

校長室だより

学校教育目標 「**学びを生かす子供**」

～自信と誇りをもった「きらりと輝く龍峯っ子」の育成～

八代市立龍峯小学校
校長 村嶋 博史



R2,8,21

NO,17

いよいよ2学期がはじまりました

12日間という例年に比べ大変短い夏休み期間ではありましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症や熱中症等の予防が必要な大変困難な期間でもありました。その中、昨日の2学期始業式には、全児童が参加したことを職員一同大変嬉しく思いました。

学校では、花壇に咲き誇る美しい花と笑顔で子供たちを迎えました。2学期は、延期した行事を含め、たくさんの行事が目白押しです。一つ一つの行事の目的を明確にし、子供たち一人一人に目標をもたせて真剣に取り組ませたい、そして、行事をとおして人間力を養わせたいと思っています。どうぞ、ご家庭でもお子様の頑張りに励ましのお声かけをお願いします。

さて、昨日の2学期始業式では、子供たちに「**礼儀やあいさつは勉強や運動の質に通じる**」をテーマとした話（その一部を下記に掲載）をしました。どうぞご家庭でも礼儀やあいさつの習慣化に向けた一層のお声かけや、できたときのお褒めのお声かけをお願いします。

～前段省略～

今朝も多くの人が「おはようございます」と、とても気持ちの良いあいさつをしたので、校長先生は、すがすがしい気持ちになりました。毎日気持ちの良いあいさつをしてくれる人たち、いつもありがとう。

こんな気持ちの良いあいさつが、「いつでも、どこでも、だれにでも」できたら最高ですね。例えば、登校したときの「おはようございます」のあいさつの他にも、廊下を歩いているときや教室に入ったときに、気持ちの良いあいさつをしましょう。また、担任の先生や校長先生以外にも、家族や地域の方々に気持ちの良いあいさつをしましょう。

こんなふうに、「いつでも、どこでも、だれにでも」気持ちのいいあいさつをしようと心がけていると、「**自分の行動を自分で気をつけることができる**」ようになっていきます。

そうすると、勉強にも運動にも良い結果が出てくると校長先生は思います。

～中段省略（サッカーの強豪国の選手の試合以外の生活態度の話）～

もちろん、「あいさつや礼儀」がきちんとできていれば、勉強や運動が必ず上達するというものではありません。でも、このサッカーの話のように、一流と呼ばれる人たちには、「あいさつや礼儀」をきちんとする人が多いので、そこには何か関係があるのではないかと校長先生は思います。

あいさつが、「いつでも、どこでも、誰にでも」できたり、いつも礼儀正しい人は、すべきことをきちんとできる人、相手の人を尊敬できる人、自分がどう見られているのかを意識できる人だと思います。これは、勉強や運動への取り組み方にも通じるものだと思います。

そう考えると、きちんとあいさつをする、お辞儀をするということは、みなさんが頑張っている、勉強や運動、習字やピアノ、バドミントン、ソフトボール、スイミング、サッカーなどの習い事などがさらに上達していくことと、実は深く関係していることがわかります。

あいさつやお辞儀を、いつでも、どこでも、だれにでも行い、もっと自分のできることを増やしてほしいと思います。決して難しいことではないので、今日から意識して始めましょう。

子育て一口メモ

「問題のない子育てはない」

幼児教育家 はやし浩司

子育てをしていると、子育てや子供にまつわる問題は、次から次へと起きてくる。それは岸辺に打ち寄せる波のようなもの。問題のない子供はいないし、したがって、問題のない子育てはない。できの良い子供(?)をもった親でも、その親なりにいろいろな問題にその都度直面する。できが悪ければ(?)もっと直面する。子育てというものは、もともとそういうものであるという前提で、子育てを考える。